

沖縄国際大学 沖縄経済環境研究所

平成 29 年度 第 1 回研究会

離島における観光の可能性と限界

—宮古島の事例を中心として—

【概要】日本人による国内観光が頭打ちとなるなかで、沖縄を訪れる観光客数は順調な伸びを示している。近年では、沖縄本島以外の中核離島に多くの観光客が訪れるようになり、本土の空港との直行便就航やリゾートホテルの新設が相次いでいる。一方で中核離島と那覇を結ぶ航空便は輸送力の限界に近づいており、観光客や島民の旅客輸送のみならず、島内農産物の移出や生活物資の移入にも影響が出始めている。また過剰な観光客誘致が、民宿など小規模宿泊施設の経営にもさまざまな影響を及ぼし始めている。講演ではこれらの問題について、実証的なデータを用いながら解説する。

日時：2017(平成 29)年

8 月 25 日 (金)

14 時 40 分～16 時 10 分

場所：沖縄国際大学

13 号館 1 階研究所会議室

対象：学生・一般・教職員

備考：申込不要・参加無料

◆◇研究会講師◇◆

富山国際大学現代社会学部（観光専攻）教授

助重 雄久

1962 年東京生まれ。早稲田大学教育学部卒業、立正大学大学院地理学専攻博士後期課程満期退学（文学修士）。立正大学助手、立正大学・中央大学・立教大学等の非常勤講師を経て、2000 年より富山国際大学地域学部講師。同大学現代社会学部准教授を経て 2017 年より現職。

専門は人文地理学(観光地理学・農業地理学)。

主催：沖縄国際大学沖縄経済環境研究所 共催：沖縄地理学会

お問い合わせ先：沖縄経済環境研究所 TEL：098-893-7967（内 6120） E-mail：lechr@okiu.ac.jp 研究支援助手 比屋根良直